

読書日和



入江杏さん 悲しみを生きる力に



岩波ジュニア新書
(2008年)

中高生へ贈る、被害者遺族の「その後」

「私ね、大切な家族を殺されちゃったの」。昨年6月、福島県田村市の仮設住宅に囲まれた集会所で、子供たちに語りかけた。「今から読むのは、妹の子供たち、にいちゃんどれくんがかわいがっていたティヘアのお話だよ」

2006年に出版した絵本「つなごってよ」を開き、友人を亡くしたごまのミシユカの物語を届けた。喪失を受け止めようとするごまの話に、子供たちがまっすぐなまなこで心えた。

00年12月の殺人事件で、隣家で暮らす妹一家4人を失った。つらいついでにごまのミシユカの物語を届けた。喪失を受け止めようとするごまの話に、子供たちがまっすぐなまなこで心えた。

「私ね、大切な家族を殺されちゃったの」。昨年6月、福島県田村市の仮設住宅に囲まれた集会所で、子供たちに語りかけた。「今から読むのは、妹の子供たち、にいちゃんどれくんがかわいがっていたティヘアのお話だよ」

「私ね、大切な家族を殺されちゃったの」。昨年6月、福島県田村市の仮設住宅に囲まれた集会所で、子供たちに語りかけた。「今から読むのは、妹の子供たち、にいちゃんどれくんがかわいがっていたティヘアのお話だよ」

「私ね、大切な家族を殺されちゃったの」。昨年6月、福島県田村市の仮設住宅に囲まれた集会所で、子供たちに語りかけた。「今から読むのは、妹の子供たち、にいちゃんどれくんがかわいがっていたティヘアのお話だよ」

悲しみ共感 支え合う社会に



いりえ・あん 1957年、東京生まれ。国際基督教大卒業。00年暮れ、東京都世田谷区で起きた殺人事件で妹一家を失う。著書に「この悲しみの意味を知ることができるなら」。共著に「連続授業命と絆は守れるか?」(宇都宮健児ほか編)など。

近くに住んでいたころ、夫とよく散歩したという東京都港区の国立科学博物館付属自然教育園で
—木葉健二撮影

ます
がかりがいろいろ